

第12回 中国・四国地方 基本問題

- 1 中国地方では、低くてなだらかな(中国)山地が東西にのび、西部の秋吉台では(カルスト)地形がみられます。
- 2 中国地方には伯耆富士とよばれる(大山)などの火山や温泉があります。
- 3 瀬戸内海には多くの島があり、なかでも(小豆)島はオリーブの栽培で知られています。
- 4 四国、愛媛県の(宇和海)の沿岸は、海岸線の出入りの多い(リアス)海岸になっています。
- 5 瀬戸内地方は、二つの山地が(季節風)をさえぎるため、年間の降水量が少なく、気候も温和です。
- 6 鳥取平野の丘陵地では、(日本なし)の果樹栽培がさかんです。
- 7 鳥取砂丘では、砂の移動をふせぐ(防砂林)をつくり、散水には(スプリンクラー)を使うなどして、らっきょう、長いもなどがつくられています。
- 8 島根県の(宍道湖)と中海は汽水湖で、しじみがとれることで知られています。
- 9 岡山県(児島湾)の干拓は、江戸時代からつづけられ、現在は、機械化された米作りがさかんです。
- 10 干害になやまされてきた(讃岐)平野では、古くから満濃池などのため池がつくられてきました。
- 11 吉野川の水を引いた(香川)用水の完成によって、古くからあったため池の数がへってきています。
- 12 (愛媛)県では段々畑でみかんの栽培がさかんで、日本有数の生産高をしめています。
- 13 瀬戸内海でははまちなどの養殖がさかんですが、(赤潮)による被害がしばしば見られます。
- 14 宇和海では真珠の養殖、広島湾では(かき)とのりの養殖がさかんです。
- 15 高知平野では、ビニールハウスを利用したナスなどの野菜の(促成)栽培がさかんです。
- 16 高知県の伊野町付近では、(こうぞ)・みつまたを原料にしてつくる和紙の生産が行われてきました。原料はアジアから輸入されるものがあります。伝統工芸では(土佐)和紙とよばれます。
- 17 瀬戸内工業地域は、他の工業地帯・地域と比べて(化学)工業の割合が多いのが特色です。
- 18 倉敷には石油化学(コンビナート)があり、鉄鋼・化学せんい工業も発達しています。
- 19 政令指定都市の広島市や府中町では、(自動車)工業が発達しています。
- 20 (宇部)・山陽小野田では、秋吉台の石灰石を原料にした(セメント)工業がさかんです。
- 21 瀬戸内海の沿岸には工業都市が多く、福山の(鉄鋼)、呉の(造船)・鉄鋼などが有名です。
- 22 四国山地の豊かな水を使って、愛媛県では(製紙)工業が発達しました。生産額は、静岡県に次いで全国で第2位です。
- 23 1988年に、本州・四国を結ぶ児島 - (坂出)ルート(瀬戸大橋)が完成しました。
- 24 1999年に、(尾道) - (今治)ルートが完成し、本州と四国を結ぶ3つのルートが全線開通しました。このルートは、瀬戸内(しまなみ)海道とよばれます。
- 25 1997年に海岸沿いを走る(山陽)自動車道、1983年には内陸部を走る(中国)自動車道が開通し、中国地方の東西を結んでいます。